

1/

開拓130年記念事業

26 TAKAHO CUP スノーボード GS

開拓130年記念 TAKAHO CUP スノーボード GS (TAKAHO CUP 実行委員会主催) が1月26日(日) ASHIMOI KANKO 高穂スキー場で開催され、道内外から37名のスノーボーダーが参加されました。GS(ジャイアントスラローム)とは、アルペン競技の一種で、ゲートの間を滑り抜け、いかに早くゴールできるかを競うスポーツです。

今大会では、ソフトブーツとアルペンの2種目を年代別の男女8部門に分かれ、出場者は各々が培ってきた技術を駆使し、合計タイムを競い合い、入賞者には雪中米やトマトジュースなど町の特産品が贈られました。



1/

環境問題についてたくさん学びました

27 カネカ環境教育プログラム Green Planet

株式会社カネカ(菅原公一代表取締役会長)が Green Planet を活用した環境教育プログラムを沼田小学校(吉田純一校長)5年生・6年生の計31名を対象に実施されました。

地方創生包括連携協定を締結している株式会社カネカの協力により、環境教育プログラムが実施され、生活に欠かせないプラスチックと環境問題について考え、地球環境を守ることの大切さを学びました。

授業終了後は、100%バイオマス由来のポリマーである「カネカ生分解性ポリマー Green Planet」で製造されたストローが全校児童に提供され、給食時の牛乳を飲む際に口当たりを体験するなど、とても貴重な時間となりました。



1/

沼田町の魅力をお伝えします!!

29 沼田町視察ツアー

「沼田町視察ツアー」が1月29日(水)~31日(金) 昨年に続いて実施され、遠くは海外に本社を置く企業など計5社が参加されました。

この視察ツアーは、産業振興と雇用の場の創出を行う企業誘致の一環で、沼田町への進出に興味を持つ町外企業の経営者らを沼田町に招き、沼田町の魅力を肌で感じていただくために行われています。

参加者は、暮らしの安心センターなどの施設見学のほか、そらち自然学校でのアクティビティ体験や町内企業を訪問され、企業進出に向けたイメージを深めていただきました。



2/7 地域の温かさが詰った素敵な贈り物です JA北いぶき女性部沼田支部からタオルの贈呈

J A北いぶき女性部沼田支部(田坂智恵美支部長)の役員4名が2月7日(金)沼田町役場を訪れ、町にタオル60枚の寄贈をしていただきました。

この活動は、地域貢献活動の一環として毎年行われており、タオルを寄付することで地域住民の生活を少しでも豊かにしたいという役員の方々の温かい思いが込められています。

タオルを受け取った横山町長は「今年もありがとうございます。介護施設などで大切にに使わせていただきます」とお礼を述べました。タオルは、和風園や旭寿園等の施設で使わせていただきます。



2/8 冬の留萌線にキャンドルが灯ります 留萌本線エキアカリ

千個のアイスキャンドルやスノーキャンドルが駅のホームを照らす「留萌本線エキアカリ」が2月8日(土) J R 留萌本線の石狩沼田駅から北一己駅までの4駅で開かれました。

2026年3月末に廃止されるJ R 留萌本線の駅舎を観光資源として活かそうと、深川市、秩父別町、沼田町の地域おこし協力隊が企画し、駅のホームは綺麗なキャンドルの灯りに包まれました。

石狩沼田駅を訪れた方々は「綺麗なキャンドルが見れて嬉しいです。これからいっぱい写真を撮ります」と笑顔で話されました。

また、駅構内では下車された乗客の方々に到着証明書がプレゼントされたほか、デジタルスタンプラリーの実施や数量限定で豚汁やカイロが無料配布され、身も心も温まるひとときとなりました。



2/9 元五輪選手が登場 第75回町民スキー大会

沼田町スポーツ協会(伊藤淳会長)が主催する「第75回町民スキー大会」が2月9日(日)ASHIMOI KANKO 高穂スキー場で開催され、今年はノルディック複合の元五輪代表、加藤大平さん^{かとうたいへい}が特別ゲストとして参加され、その華麗な滑りで会場を沸かせました。

大会は、大回転競技(スキー・スノーボード)で組別ラップ(2本のタイムが速い方が上位)と個人タイム差(2本のタイムの差が少ない方が上位)の2部門で競い合いました。

午後からは、N - l i n kによる、「大人の雪中バー&運動会」やスキー・スノーボードの無料レッスンが行われ、大人も子どもも様々な形でウィンタースポーツを楽しみました。



2/ 開拓130年記念事業 11 エンジョイ!スノースポーツ in TAKAHO

沼田町開拓130年記念事業として、スキー競技のモーグル選手として活躍し、2016年全日本選手権大会優勝者の梶原干裕さんかじわらちひろと2018年平昌オリンピック日本代表でハーフパイプ選手として活躍された松本遥奈さんまつもと はるなの2名を招き、スキー・スノーボード教室が2月11日（火）開催され、計18名が参加しました。

参加者は、梶原さんと松本さんから滑る際の姿勢や重心の掛け方などの直接指導を受け、頂上からの滑りを存分に楽しみました。

教室終了後には、お二人からは「皆さんには、これからたくさんスキー場に足を運んでいただき、スノースポーツを楽しんでほしいです」と笑顔で話され、最後は記念撮影するなど、参加者にとって思い出に残る貴重な一日となりました。



2/ 部員みんなで協力して除雪しました 20 クラーク記念国際高野球部除雪ボランティア

クラーク記念国際高等学校野球部の部員10名が、地域貢献活動の一環として、旭町地区に所在する高齢者住宅の除雪ボランティアを行なっていました。

沼田町の降り積もる雪に苦勞する住民の方々のために、部員たちは重い雪をスコップで運び、汗を流しながら一生懸命に除雪を行いました。

部員たちは「積った雪を除雪することで、ご高齢の方々にたくさん太陽の光を浴びてほしいですし、少しでも地域に貢献できれば嬉しいです」と笑顔で話されました。クラーク記念国際高等学校野球部の皆さん、ありがとうございました！



2/ 地域と認知症について考える 21 認知症フォーシーズン「冬」

沼田町で学ぶ認知症教室フォーシーズン「冬」が2月21日（金）開催されました。

同教室では「認知症と沼田町～認知症サポーター研修会～」と題して沼田町地域包括支援センターやましたこうだい（保健福祉課）山下広大主査による講演が行われ、認知症の症状や種類、認知症の方との接し方など、多岐にわたる内容が説明され、参加された方は熱心に耳を傾けていました。

講演後には、認知症に関する正しい知識を持ち、温かく見守る「認知症サポーターカード」が参加された方全員に渡されました。



2/26 ピザ作りとバズり体験！町観光ツアーを提案 北海学園大学着地型観光成果発表会

地域活性化に関する包括連携協定を結んでいる北海学園大学の経済学部地域経済学科の濱田^{はまた}武士教授ゼミ所属の学生22人が、2月26日（水）着地型観光の成果発表会を開催されました。

学生は、トマトケチャップを使用したピザを窯で焼く「ピザ作り体験」とツアー参加者が明日萌駅などを撮影した動画をSNSで発信する「バズり体験ツアー」の2種類を提案されました。「バズり体験ツアー」では、再生回数が多い投稿者には、特典を付けるなどのアイデアも説明され、参加者は興味深く話を聞いていました。



3/5 ふるさとからの贈り物 中学3年生への町長講話・卒業記念半纏贈呈

卒業を迎える沼田中学校（里舘幹彦校長）3年生（14名）に、卒業記念として地域文化の象徴である夜高あんどん祭りの藍染の半纏とそれぞれの名前が彫られた木札が贈呈されました。

この取り組みは、卒業生と地域との繋がりを深めることを目的とし、卒業生がいつでもふるさとを思い出し、地域との絆を感じられるようにと願いが込められています。

横山町長からの講話では、「卒業後は色々な経験をしていくと思いますが、辛い時はふるさと”沼田町”を思い出してください。また、目標に向かって諦めずゆっくりと進み、一度しかない人生を楽しんでください」と生徒たちに伝えました。

贈呈後は記念撮影が行われ、生徒たちは半纏に袖を通し、ふるさとへの誇りを胸に刻みました。



高田 勲氏を監査委員に選任

令和3年1月30日から4年間、町の代表監査委員であった中村保夫氏^{なかむらやすお}の後任に、高田勲氏^{たかだいさお}が選任され、横山町長から選任証書が手渡されました。

監査委員は、地方公共団体等の財務や事業の監査を行う機関として各自治体等に設置されており、沼田町の事務局は役場3階の議会事務局にあります。

高田氏は4期16年の沼田町議会議員の豊富な経験を活かし、これから4年間活動していきます。



ぬまたっ子、スポーツで大活躍！

小学生ミニバスケットボール道北大会出場！

2月1日（土）、2日（日）当麻スポーツセンターで開催される第3回北海道ブロックミニバスケットボール道北大会出場のため、「ソルベルテMBC」メンバーである沼田小学校（吉田純一校長）児童4名が沼田町役場を訪れました。

「ソルベルテMBC」は沼田町、秩父別町、妹背牛町の3町から集結した合同バスケットボールクラブです。

チームメンバーを代表して沼田小学校6年生上野快さんが「チーム一丸になって優勝を目指します」と力強く話し、横山町長は「日頃の練習の成果を思う存分発揮し、優勝目指して頑張ってください。期待しています」と激励されました。



渡辺選手 小学生バレーボール全道優勝、全国準優勝

深川J Bに所属する沼田小学校4年生の渡辺悠乃さんが、昨年12月に愛媛県で開催された第22回全国スポーツ少年団バレーボール大会で準優勝、1月に北海道江別市で開催された第41回北海道小学生バレーボール選抜優勝大会で優勝され2月21日（金）沼田町役場を訪れました。

渡辺さんは、「目標だった全国1勝を達成することができましたが、優勝することができなかったのが、次は優勝したいです」と話され、横山町長は「日頃の練習の成果が結果に繋がっている。今度は全国優勝できるように頑張ってください」と激励の言葉を贈りました。



全日本パワーリフティング選手権大会出場！

令和7年2月22日（土）～24日（月）まで、滋賀県栗東市民体育館で開催された全日本パワーリフティング選手権大会「第30回サブジュニアクラシック部門」へ出場した馬狩柊斗選手（深川西高校2年）が59kg級で大会2連覇に加え日本記録更新し世界大会への参加権を獲得、松尾泰希選手（旭川南高校2年生）が53kg級で5位入賞と2人の沼田っ子が輝かしい成績を収めました。

馬狩選手は「周りの人に支えられて出せた結果だと思っています。これからも松尾選手と共にもっと上を目指して頑張っていきます」と話し、松尾選手は「初めての大会でいい経験ができました。次は今回以上の成績が出せるように、馬狩選手とたくさん練習を頑張ります」と力強く話しました。



沼田町監査委員より定期監査の報告

去る、2月5日から7日までの3日間、沼田町監査委員による、沼田町の令和6年度会計（4月1日～12月31日まで）の定期監査を行いました。

これは、地方自治法第199条の規定より、町の事務・事業の執行状況とともに町のお金が住民のために最小限の経費で最大の効果を上げるよう効率的に使われているかを監査したものです。

監査の結果、事業の執行及び財務事務等全般については、適正に執行されていると認め、報告いたします。

沼田町代表監査委員 高田 勲
沼田町監査委員 長野 時敏